

健康人の超多項目健康ビッグデータ

《構造イメージ図》

分野の垣根を越えた
多因子的解析を可能にする網羅的データ
3,000項目 × 1,000人 × 19年

【特に特徴的なバイオデータ群】
全ゲノム(fastq,bam,vcf,ジャボニカアレイ)
細菌叢(腸内・口腔内マイクロバイーム:16s,ショットガンメタゲノム)
代謝物・メタボローム(血液・尿・毛髪・涙液)
リボ核酸(皮脂RNA)
単純X線・橈骨DXA(全脊椎,腰椎,両手,肩関節,膝等)

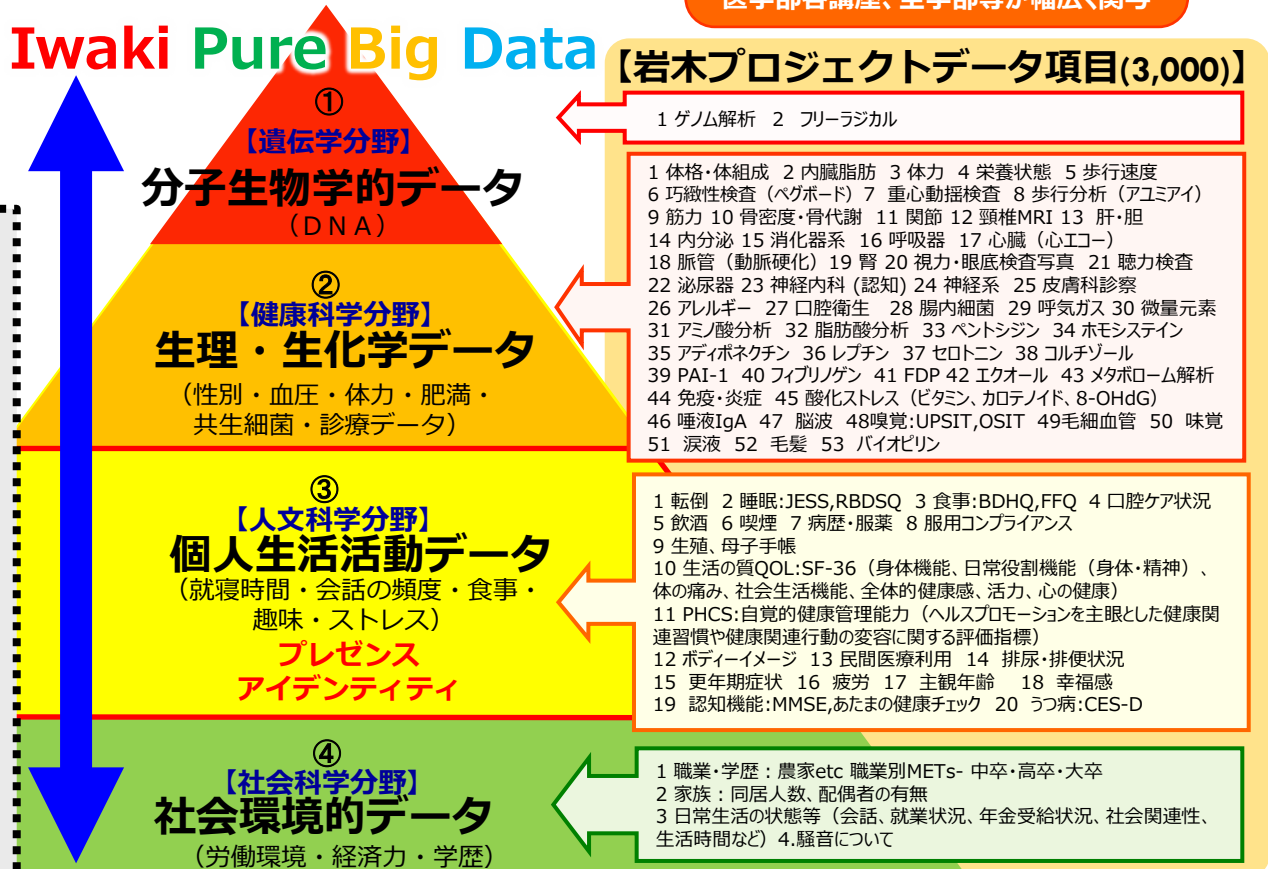
医学部各講座、全学部等が幅広く関与

ほぼすべての関係者が集結する『場』
医学部各講座、他学部(人文・理工他)、他大学・研究機関、公的機関、企業、自治体、市民

一つの測定項目と他の3,000項目との関連性が検討できるメリット！

例)1,000名の腸内細菌データだけでは大きな意味を持たないが、3,000項目との関連性ではイノベティブな知見をもたらす。

⇒ 性、年齢、肥満、体格、体力、動脈硬化、喫煙、飲酒、食生活、運動、便通、口腔内細菌、口腔環境、角層、メタボローム、ピロリ菌、認知症、糖尿病、高血圧、アレルギー、肝機能、腎機能、心機能、肺機能、睡眠、微量元素、呼気ガス、免疫能、ストレス、ロコモ、フレイル、メタボ、好中球機能、リンパ球、サイトカイン、ビタミン、ホルモン、脂肪酸、アミノ酸、服用薬剤、泌尿器疾患、AGEs等との関係が明らかになる。



《分野・領域横断的な研究体制》

※ 岩木ビッグデータではひとりの人間の分子生物学的データから社会環境的データまでをすべて関連づけた網羅的解析が可能
※ 19年間実施し延べ“約2万人”以上。2016年からは別途65歳以上高齢者2.4千人対象とした認知症健診も実施。